

消化器内科

研修指導者名

井戸 章雄 森内 昭博 玉井 努 瀬戸山 仁 上村 修司 田口 宏樹
橋元 慎一 佐々木 文郷 那須 雄一郎 馬渡 誠一 有馬 志穂

メッセージ

当教室は昭和22年7月に県立鹿兒島医専に新設された第二内科に初代佐藤八郎教授がご就任され、その後、第二代橋本修治教授、第三代有馬輝勝教授、第四代坪内博仁教授の各先生方のご尽力によって発展してきた歴史ある教室です。

大学院化に伴い「消化器疾患・生活習慣病学」と名称を改めましたが、教室の特徴はこれまで幅広く消化器、腎臓、糖尿病、循環器、血液、呼吸器疾患の臨床を進めてきたことにあります。

教室では鹿兒島県内の基幹病院で活躍しておられる多くの同門の先生方と連携して、地域医療が必要とするさまざまなニーズに対応できる間口の広い、かつ高い専門性を持った消化器内科医を育成したいと考えています。医学の最終目標は「病に苦しむ患者さんを治す」ことにあります。

内科はその「病に苦しむ患者さん」を最初に診る診療科です。

従って、まずは患者さんをトータルに診て、的確に診断し、正しく治療する、また、治らない病気に苦しむ患者さんにおいては共に歩み、学びながらその人生を支えていく。内科医は患者さんに優しく接し、治療して喜ばれるだけでなく、病を背負っている患者さんとそのご家族の人生において精神的な柱ともなる存在です。

患者さんの訴えに耳を傾け、真摯に接するのは当然のことです。

しかし、優しく接するだけでは的確に診断し、正しく治療することはできません。

臨床医の仕事は、正しく学んだ知識を科学的な思考に基づいて様々な背景や希望を持った患者さん一人一人に最もふさわしい「彩り」を添えて、「その人にとって一番良い医療」として提供することです。大学の教室は、医学を正しく学ぶ力を養い、学びとった最新の知識、技術を応用する論理的な思考を身につけるところです。そして、その中で私達は日々進歩する医学を最前線で学ぶことができます。

私たちの教室は、患者さんに優しく、そして真摯に接する「医の心」と、卒後20年、30年経っても自ら学ぶ力を備え、最新の知見にもとづいて最も良い医療を提供できる「医科学者の思考」を併せ持った「良い内科医」を育てています。患者さんやそのご家族の笑顔を糧に、明るく、時に厳しく学び、患者さんの内にある生命科学の妙に畏敬の念を持ち、そして身につけた知識、技術を一人一人の患者さんに応用する臨床の醍醐味を知ることのできる場でありたいと思います。



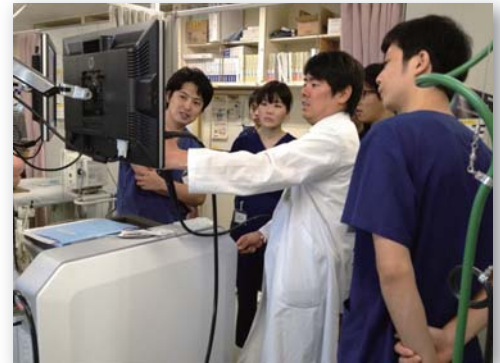
研修目標

消化器内科医として必要な臨床能力、技能を修得する。消化器病専門医資格をめざす場合、2年間の卒後臨床研修終了時にて内科認定資格がない場合、消化器内科研修と平行して一般内科の研修を行う。大学院に入学した場合、研究と平行して消化器分野の専門研修を行う。



研修可能技能

- 肝 : 腹部超音波検査、肝生検、肝癌の局所治療(RFA、PEIT)
肝血管造影検査、肝動脈塞栓療法
- 胆・膵 : ERCP検査、治療内視鏡(内視鏡的乳頭切開術、
内視鏡的排石術など)、超音波内視鏡検査
- 消化管 : 上部および下部消化管内視鏡検査、治療内視鏡
(内視鏡的粘膜切除術(EMR)、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)
内視鏡的静脈瘤結紮術(EVL)、内視鏡的硬化療法(EIS)など)



取得できる専門医資格技能

- ・日本内科学会認定医
- ・日本内科学会総合内科専門医
- ・日本消化器病学会専門医
- ・日本肝臓学会専門医
- ・日本消化器内視鏡学会専門医
- ・日本超音波医学会専門医
- ・日本消化管学会胃腸科専門医
- ・日本胆道学会専門医
- ・日本膵臓学会専門医
- ・日本ヘリコバクターピロリ学会専門医
- ・がん治療認定医

特 徴

大学では、消化器内科の研修を通して、内科学を習得することを目標としています。また県下の基幹病院から地域医療・地域医療へき地医療を担う病院まで、様々な協力病院でプライマリな症例を経験し内科医としての力を付けられます。尚、当科では内科認定医取得を最初の研修目標としており、医局として取得をバックアップしています。

さらにESDやRFAなどの専門的な高度な手技の習得も可能で、各種学会の認定施設であり、種々の専門医取得が容易です。また希望すれば国内外の施設に留学し、技術のスキルアップおよびさらなる研究も可能です。

国内留学先：佐久総合病院胃腸科、自治医科大学消化器内科、仙台市医療センター仙台オープン病院
消化器内科(現在留学中)、兵庫医科大学超音波センター、杏林大学腫瘍内科

海外留学先：シカゴ大学、南カルフォルニア大学、ハーバード大学、ペンシルバニア大学(現在留学中)

研修参加条件

卒後臨床研修修了者

研修施設

鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、国立病院機構鹿児島医療センター、国立病院機構指宿医療センター
県立大島病院、県立薩南病院、出水総合医療センター、出水広域医療センター
鹿児島厚生連病院、鹿児島逡信病院、済生会川内病院

研修期間

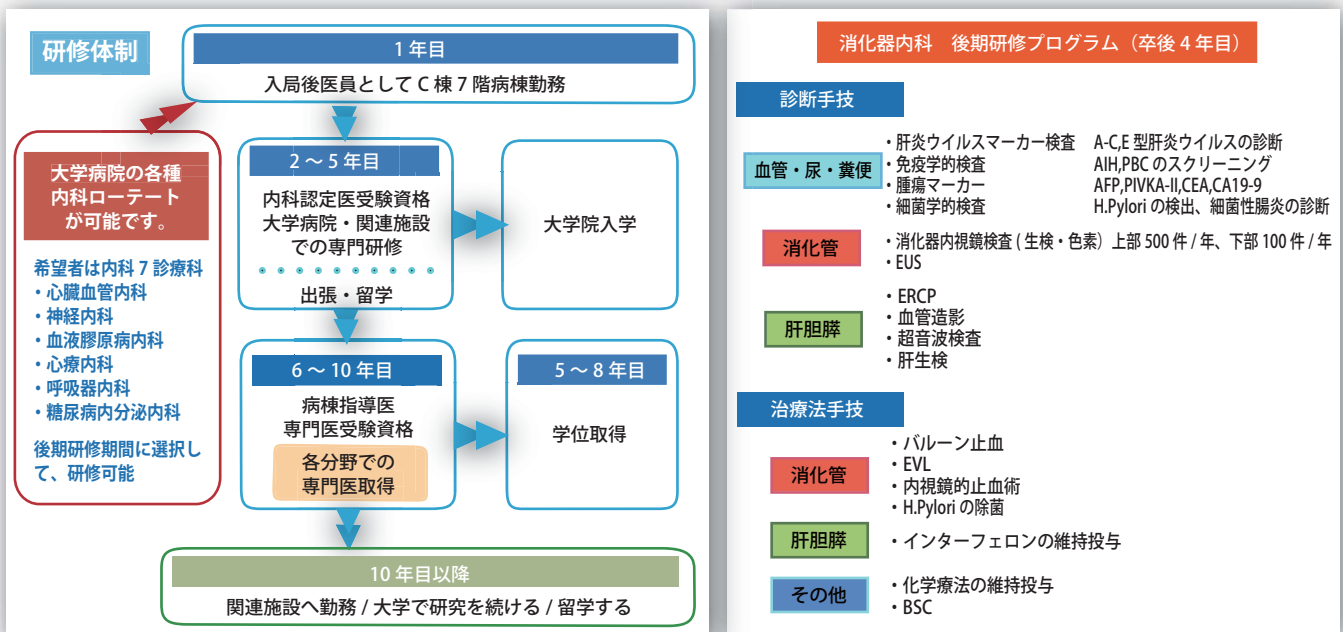
学位は4年以上、専門医は6年以上を修得可能。



研修プログラム

卒後3年目は、大学病院の消化器内科病棟を中心に勤務し、内科診断学の基本や疾患に対する考え方の修得を目指します。もちろん、内視鏡検査や腹部エコー検査などの消化器内科として必要な基本手技も並行して研修を行います。特に大学病院では、内視鏡や腹部エコーのシミュレーターが充実しており、自分の時間やスキルに合わせた研修も可能です。また、上級医の指導を受けて内科専門医取得に向けて症例のまとめなどの準備を行い、卒後4年目に認定内科医を取得します。

卒後4年目以降は、鹿児島県内を中心とした関連病院にて消化器内科医として研修を行うとともに内科救急などの内科医としての研鑽を積みます。消化器内科医として必要な基本的な手技は、関連施設に共通したプログラムを設定し、研修を行っています。希望により大学院へ入学し、研究・学位取得さらには海外留学の道も開かれています。また、さらに臨床を極めたい先生には、国内留学も可能です。



現在研修中の医師数

	大学内(うち大学院生の数)		大学外
卒後3年目	8	(0)	0
卒後4年目	0	(0)	9
卒後5年目	0	(0)	10

プログラムの募集人員及び選考

- 【募集人員】 15名程度
- 【選考】 面談

研修と大学院の関係

卒後4年目以降は面談を行い大学院への入学が可能。
大学院中に学外研修、留学などがあり大学院休学を要することもある。

処 遇

大学病院規定による。

研修終了後の進路

大学病院での臨床および基礎研究の継続
 関連病院での消化器内科中心の診療
 総合内科医として地域医療への貢献
 開業（かかりつけ医）

指導医・専門医

日本内科学会指導医	11名		
日本消化器病学会専門医	16名	同指導医	2名
日本肝臓学会専門医	11名	同指導医	2名
日本消化器内視鏡学会専門医	11名	同指導医	1名
日本超音波医学会専門医	1名	同指導医	1名
日本消化管学会胃腸科専門医	2名	同指導医	2名

プログラムに関する問い合わせ窓口

鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

電話：099-275-5326

FAX：099-264-3504

E-mail：nintai@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp

ホームページ；<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~intmed2/>

